

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 1 1	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>	
Eating disorders and substance abuse in Canadian women: a national study. カナダ人女性における摂食障害と薬物乱用 国民調査より	
<b>執筆者</b>	
Piran N, Gadalla T.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>	
Addiction. 2007 Jan;102(1):105-13.	
<b>キーワード</b>	
同時発生、依存性、摂食障害、薬物乱用	
<b>要 旨</b>	
<p><b>目的：</b> この研究はカナダ人の成人女性の国民全体を代表するサンプルにおける、摂食障害と薬物乱用の共存状態について検討することを目的としている。薬物乱用については最近だけでなく生涯にわたる状態を検討した。</p> <p><b>研究デザイン：</b> この研究は、Canadian Community Health Survey(CCHS)のメンタルヘルスとウェルビーイング 1.2 版の中のカナダ統計によって収集されたデータの二次解析で、多層に層別化してサンプリングしている。</p> <p><b>解析：</b> 摂食障害のリスクの測定には摂食行動テスト (EAT-26) を使用した。飲酒、アルコール依存及び乱用と、違法薬物の使用、依存、乱用については Composite International Diagnostic Interview の短縮版(CIDI-SF)から適当と思われる測定基準を用いた。</p> <p><b>対象：</b> カナダ人の成人女性全体を代表するサンプルのデータを、年齢により 3 つのグループ (15-24 歳、25-44 歳、44&lt;歳) に分けて、今回の研究に用いた。</p> <p><b>結果：</b> アルコール依存とアルコールの乱用は、年齢別の 3 つの群で有意に摂食障害のリスクと関連があった。また、年齢別の 3 つの群で、摂食障害のリスクと生涯における違法薬物の使用及び依存の間に有意な関連があった。最近 12 ヶ月の状態に限っても、15～24 歳の群と 25～44 歳の群では、この有意な関連が見られた。</p> <p><b>結論：</b> この研究結果より、成人女性用の、摂食障害と薬物乱用についての簡単なスクリーニング手段の開発、および摂食障害と薬物使用の両方を有する場合の治療方法の進歩が必要であることが示唆された。</p>	